



相変わらず要員不足の SMT!!

これで年末年始輸送を乗り切れるのか!!

これまで、私たちJR東海労はSMTに対して慢性的な要員不足を解消するように、何度も団体交渉の場で迫りました。

しかし、SMTの要員不足は一向に改善されません。とりわけ、大井夜勤事業所での要員不足は深刻な問題となり、そのシワ寄せは現場で働く労働者に重くのしかかっています。

このままでは、年末年始の多客輸送を乗り切れるのか、現場労働者の安全と健康を守ることができるのか非常に危惧されます。

現場で働く皆さんも働きやすい職場にするために、管理者に強く訴えてください。



SMT 労組 ボーナス 妥結 !!

組合員は唾然 !!

SMTは、SMT労組に対して11月22日に〔2.65ヵ月+1万円〕のボーナス回答を示し、組合はこれに応じて妥結しました。

「SMT 労組 NEWS[No.2]」によると、SMTは団交の席上「賃金改定や勤続年数・正社員比率の増加による人件費の上昇や会社施策である業務刷新・イノベーション・DX化・新ユニフォーム導入等の要因が重なり、年度を通して赤字を見込んでいる。」とボーナスを抑え込む理由をあげつらっています。

これに対してSMT労組の大山兼太郎委員長は「第二四半期赤字分については着実に設備投資を行っている結果であり、働きやすい環境が着実に整備されている価値ある赤字と認識します。」とコメントしています。

これについては、現場で働いている労働者は唾然。いや「わけのわからないイノベーションや新ユニフォームで赤字のツケを回されたらたまったものじゃない」と、怒りの頂点に達しています。

また、準社員の勤続年数により支給額の格差にも大きな疑問が出ています。“同一労働同一賃金”の原則はどこかに捨てられたのでしょうか?!

新 労 組 結 成 !!

御 用 組 合 は 必 要 な い !!

新幹線関西支社管内では、SMTと同じ新幹線車両や駅などの清掃を(株)関西新幹線サービックという会社が請け負っています。この会社には、私たちJR東海労の組合員をはじめ、何名かのJR東海社員が出向しています。



今年8月18日に、関西サービックに出向しているJR東海労組合員とプロパー社員で、職場の労働条件、労働環境の改善を目的に新しい労働組合“JRサービック労組”(略称:JS労)を結成しました。

このJS労結成は、「会社の言いなりの御用組合では、私たちの労働条件は何も変わらない」「ますます悪くなるばかりだ」との現場の悲痛な叫びから誕生しました。自分たちの職場は自分たちで良くするしかありません。

JR東海労は、JS労の仲間たちと連帯し、共に闘います。

大井基地に危険物



大井基地のバス駐車場横に約100本のドラム缶が置いてありますが、このうちの5本のドラム缶に「特別管理産業廃棄物保管場所」と書かれています。廃棄物の種類として〔鉛含む〕〔カドミウム含む〕と表記されています。

この件で、JR東海労は会社に質問しましたが、幹鉄事の担当者は「水の品質検査を定期的に行っている中で、鉛が検出されたという事実があって、水道局(下水道局)にきちんと報告をしている」とだけしか答えず、汚染源が何なのか、どういう処理をするのか、具体的なものは全く明らかにしませんでした。

皆さんも承知の通り、検修庫は悪臭を漂わせていましたが、会社は何ら対策を講じませんでした。それが最近になって急に汚水樹清掃が何度か行われるようになりました。

これは、現場で働く人達の安全と健康にかかわる問題です。会社は、どういう経緯で有害物質である鉛・カドミウムが発生したのか、どういう対策をするのか、丁寧に説明する義務があります。

働きやすい職場にするために、共に声をあげましょう!

連絡先 JR東海労働組合新幹線地方本部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5 TEL 03-3201-0350

メールアドレス jrcushinkansen@yahoo.co.jp (GRコードから新幹線地本ブログもご覧下さい)